

あきたのジオパークフォトコンテスト



実施概要



秋田県内3つのジオパークエリアの魅力ある写真を募集します。

自然が作り出す大地の美しい景観や、大地の恵みを受けて暮らす人びとの姿をあなたの写真で表現してみてください。

◆テーマ◆

A. ジオを感じる風景 B. ジオと暮らす人びと

◆撮影エリア◆

八峰白神ジオパーク、男鹿半島・大瀧ジオパーク、ゆざわジオパーク

(撮影対象は秋田県にある3つのジオパークエリア)

◆応募締切◆

平成26年11月28日(金) ※当日消印有効

◆応募資格◆

制限はありません。

◆審査発表◆

入賞者に直接連絡するほか、新聞、広報、HP等で発表予定

入賞者には
ジオパーク特産品を
贈呈します!

最優秀賞 1点
賞状・3ジオパーク特産品の
詰め合わせ(3万円相当)

優秀賞 2点
賞状・3ジオパーク特産品の
詰め合わせ(1万円相当)

地域賞 4点
賞状・各4市町村の
特産品

入選 20点
記念品
(ジオグッズ)

応募方法

次のいずれかの方法で応募してください。

<p>1. プリントをして応募</p> <p>四ツ切り・四ツ切りワイドのサイズでプリントしたものをNPO法人あきた地域資源ネットワーク事務局宛に郵送もしくは持参ください。(応募用紙を裏面にテープで貼ってください)</p>	<p>2. CD-Rでの応募</p> <p>画像データをJPEG形式もしくはRAWなどの生データでCD-Rに記録し、応募用紙を同封して、NPO法人あきた地域資源ネットワーク事務局宛に郵送もしくは持参ください。</p>	<p>3. メールで応募</p> <p>データサイズが4MB以内の場合は、下記メールアドレスまで送信してください。 4MBを超えるデータの場合は、大容量転送サービス(データ便、宅ふぁいる便など)を利用し、お送りください。</p>
<p>(送り先) 〒011-0945 秋田市土崎港西3丁目9-15 チャレンジオフィスあきた303 NPO法人あきた地域資源ネットワーク 宛 (お問合せ) TEL018-816-0610 FAX018-816-0611</p>		<p>(送り先) akitageo@arr-net.com</p>



(ジオサイト23)糠森山頂からの風景

1万年前の風景に 思いを馳せる

恒例の行事、糠森登山が毎年元日に行われています。平成24年の当日は快晴に恵まれて、八峰町の浜田から八森く峰浜の一部まで見渡すことができました(写真)。

糠森は地名「八森」の由来となつて8つの森の一つです。海面からの高さは208mで安山岩の溶岩からできています。昔は家畜用の干し草を作るための共同草刈り場として大切に使われていました。現在はテレビや通信電波の中継基地が設置されています。

この基地作りの資材を運搬するため山頂まで運搬道が作られており、基地が出来上がった後は登山道として活用されています。

山頂からは八峰町の大部分を見ることができ、この写真で注目してほしいことは画面の大部分を占める平らな地形です。この平らな平面を段丘面といいます。そのほとんどが田畑として使われています。

よく見るとこの段丘面は大きく湾曲したラインで区切られています。ラインの近くでみると、高い崖からできていることがわかります。この崖のことを段丘崖と言います。

ますが、浜田集落の東側に広がる水田の高さと本館集落に広がる水田の高さは崖を境にして大きく違っています。

段丘崖は海の波の力で崖が削られてきたものです。つまりこの崖ができた当時は海がここまで届いていたということになります。

そしてこの崖が描く線は当時の海岸線となります。ということは浜田集落や古屋敷、八森などの集落はすべて海底になってしまっていますね。

では一体それはいつごろのことだったのでしょうか?このような現象はなにも八峰町だけの話ではなく、日本全体はもとより世界的に起こった現象だったことが分かっています。今からおおよそ1万年前のことでした。日本では縄文時代の草創期にあたり、石器を使用していたころに当たります。ただしその頃、ここに人が住んでいたかどうかは現在のところ明らかではありませんが土井遺跡近辺に住んでいたかも知れません。

八峰白神ジオパーク推進協議会
会長 工藤 英美
〒0182612
秋田県山本郡八峰町八森
字ノケソリ116 旧岩館小学校内
TEL0185-78-2427